

平成16年度 第2次試験 【事例】

与件を活用した解答例

第1問(配点40点)

(設問1)

a	自己資本比率	b	25.55%
c	問題点は、新工場の土地代や工場建設代の投資金額の調達を借入金に依存している計画案のため、資本の安定性が低下する点である。		
a	売上総利益率	b	23.17%
c	問題点は、新型製品用設備の投資割合が小さい計画案のため、従来型製品中心の商品構成になり収益性が低下している点である。		
a	有形固定資産回転率	b	2.51回
c	問題点は、現在の工場を除却するが土地の売却までは考えていない計画案のため、遊休資産が増加し資産効率が低下する点である。		

(設問2)

改善策は、計画を、現工場の除却と同時に土地も売却し、新工場への投資資金に充当させ借入金を縮小するよう見直すことである。

改善策は、計画を、高度化、高付加価値化、多様化が進みつつある新型製品用設備への投資割合を拡大するよう見直すことである。

第2問(配点15点)

(設問1)

インターネットによるリング型の構外ネットワークシステムを用いることが、D社にとって費用負担面で適切であると考えられる。

(設問2)

セキュリティについて、パスワードを利用した個人認証やファイアウォール設置による不正侵入防止等の方策をとることが必要である。

第3問(配点30点)

(設問1)

a	138百万円	b	80百万円
---	--------	---	-------

(設問2)

買収金額は妥当ではない。理由は、D社の企業価値の金額は20億円であり提示された15億円を上回るためである。

(設問3)

a	純資産法
b	簿価又は時価の資産総額から負債総額を差し引いて企業価値を計算する方法である。

a	市場株価比較法
b	類似会社の平均資産や純利益・配当金等との比較値により企業価値を計算する方法である。

第4問(配点15点)

(設問1)

18百万円

(設問2)

第1年度には一部を投資して、第2年度には投資を行わない方法が期待値が24百万円と最も大きくなり、採算的に最も望ましい。
